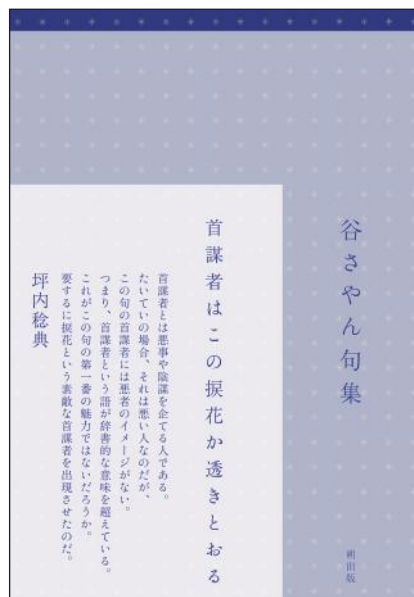


★11月上旬発売 新刊情報★

『谷さやん句集』

宗左近俳句大賞受賞作家による待望の第二句集！



定価 2200円(本体 2000円+税10%)
 四六判 仮フランス装 170頁
 装丁 水戸部功

谷さやん (たに さやん)

1958年、愛媛県生まれ。96年、「夏井いつきのカルチャー教室」で作句開始。「船団」入会。2006年、句集『逢ひに行く』により、宗左近俳句大賞受賞。著書に、坪内稔典・谷さやん共編『芝不器男百句』、『芝不器男への旅』、俳句とエッセー『空にねる』などがある。2020年、「船団」散在。「窓と窓」常連となる。

坪内稔典氏、推薦！

さやんの俳句は、実は音よりもイメージに傾斜している。音楽的でなく絵画的と言ってよい。音楽家よりも画家にちかいのだ。(中略) 思いや気持ちを五七五の言葉の絵にしたとき、俳句は短い詩になる。さやんの句のように。

収録作品より

草踏んで四月は黙秘することに
 海の日砂にイーゼル立てたきり
 行き暮れて日向夏まで戻りたい
 泳ぐとはずぶ濡れになる海を出る
 睡蓮の手前で電話をください
 花野では落馬のように抱かれない
 檸檬あり窓を開くに及ばない
 冬青空小船に立っているかんじ
 つわぶきも腰の工具も濡れている
 雪にまだ早くて絵の具ころがして
 棒アイス舐めて鴉を従えて
 靴下を選ぶ薔薇に水やるように選ぶ

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRCより全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者 JRC 宮尾)

ご注文申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
		冊	谷さやん句集 四六判 / 仮フランス装 / 170頁 / 定価: 2200円(本体2000+税10%)
	(ご担当者名:)		ISBN978-4-908978-80-7 C0092